

東北にチルド商品の物流拠点を設け、安定配送を確保する

株式会社日本アクセス 様 「東北日配物流センター」(宮城県仙台市)

同社は北は青森から、南は鹿児島まで、日本中の拠点をつないで食のインフラを支えています。

スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、百貨店などの小売業からカフェ、レストラン、居酒屋などの外食産業まで幅広い業態のお客様に対し、ドライ(常温)・チルド(冷蔵)・フローズン(冷凍)の3温度帯の食品をお届けしており、中でも、チルド食品・乳製品・冷凍食品等を含む「低温事業」に関して、業界トップクラスの事業規模があります。

弊社エンジニアリング部門では、全国の中堅・中小スーパーマーケットで構成する協業組織、CGCグループ様との縁で、同社東北日配物流センター様のお手伝いをさせていただきました。



▲「東北日配物流センター」全景



▲前室・冷蔵庫



▲トラックヤード

立体架台(中2階)



▲立体架台(中2階)倉庫



▲冷蔵庫_立体架台下

立体架台を設けスペース活用、全温度帯商品の物流を可能にする

東北エリアは路線の確保など、物流の利便性や効率性において多くの課題を抱えていると言われています。その中において、日本アクセス様の東北日配物流センターは、東北エリアのチルド商品の物流拠点として、小売業様への安定的な配送を一括管理する役割を担っています。

2021年12月に稼働を開始し、メーカー様の在庫基地(DC型)、通過品の集約拠点(TC型)、商品調達などの幹線物流の3点を軸として、

365日対応可能な、お得意先様のセンター前センターとしての機能強化を図られています。現在のところ、取扱メーカー数は約130社、小売業センター様への納品対応は120社ほどとなっています。

同センターは庫内の高さを利用して、立体架台を設けることにより、実質2階建て相当の倉庫スペースを確保、さらに、限られた空間スペースを機能的に活用するため、冷蔵庫スペース内にフローズンチルド商品対応のための冷凍

庫を設置しています。庫内には、相互に冷気が流れ込まないようにビニールのれんを設置し、結露対策として、壁や鉄骨へのウレタンの吹き付け、立体架台を支える支柱への覆いなどの施工も十分にされています。

省スペースにもかかわらず、冷蔵に特化した東北エリア全域に対応することが可能となりました。和・洋日配において、冷蔵、冷凍の温度帯商品の物流への対応が可能になりました。



▲冷凍室入り口



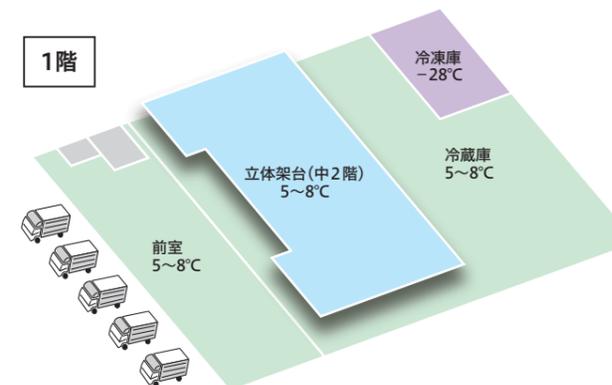
▲冷蔵庫



▲前室・冷蔵庫



▲垂直搬送機



■施設概要

所在地	宮城県仙台市宮城野区港2-1-2
稼働年月	2021年12月24日
敷地面積	3,304㎡(999坪)
建物面積	2,667㎡(807坪)
冷蔵エリア	3,064㎡(927坪)
フローズンエリア	193㎡(58坪)
納入設備	冷凍冷蔵庫規模 985坪(冷凍庫:58坪、冷蔵庫:927坪) 集中監視システム(センサムセイバープレミアムII×1台) 一体空冷式スクロール冷凍機×6台(151馬力) 冷却器×21台、ドックシェルター×10台、防熱電動扉×2面